



Create Hope in the World

『世界に希望を生み出そう』

2023-2024年度RIテーマ 会長 ゴードン R. マッキナリー

■ 点鐘 / 12:30 ■ 例会場 / 山形グランドホテル：サンリヴァ ■ 出席報告 / 38名 (会員数 88名)

会長メッセージ

「肩書文化」と「さんづけ文化」の光と影

私は銀行で法人営業や企業調査に携わってきましたが、日本の組織には2つの気風・文化があると思います。肩書や役職名をつけて呼ぶ「肩書文化」と、つけずに「〇〇さん」と呼ぶ「さんづけ文化」です。

まず私自身は、「さんづけ文化」の中で育ちました。まず、慶応大学は、「〇〇教授」とか「〇〇先生」とは呼ばず「〇〇さん」と呼ぶのを伝統としています。「先生」と呼べるのはただ一人、創設者である福沢諭吉だけということになっています。ちなみに学内の文書の表記は「〇〇教授」ではなくて「〇〇君」です。学生同士もさんづけで呼ぶことが多かったと思います。

日本興業銀行はかなり明確な「さんづけ文化」でした。行員数3千人の小所帯だったことと思いますが、対外的には役職をつけますし、先輩・後輩や入行(入社)年次の序列はむしろ厳格でしたが、上司に対してもさんづけ、部下に対してもさんづけでした。中山素平という大頭取がおり「特別顧問」という肩書はありましたが、ごく普通に「そっぺいさん」と呼んでいました。

こうした「さんづけ文化」は、肩書に拘らず個を尊重し、フラットな立場で意見が言える自由な気風の反映だったと思います。銀行は総じて保守的業界ですが、その中において、今日的テーマである多様性(ダイバーシティ)や公平性(エクイティ)の観点で先進的だったのかもしれない。



山形の会社や職場は「肩書」と「さんづけ」のどちらが優勢でしょうか。色々な人から聞くに、また私の印象でも前者です。リンベルは東京と山形にそれぞれ社員がいますが、本社では「山形の人(社員)は相手の肩書きを優先させる人が多い」という声が漏れ聞こえます。これは、良くも悪くも何事も真摯に取り組む県民性が肩書重視に反映しているかと思います。

ロータリーはどうでしょうか。そもそも肩書自体1年限りですから、基本的に「さんづけ文化」が最もなじむ組織だと思います。特に山形ロータリーの先輩からは、クラブの伝統として、先輩も後輩も基本的にお互いに「さんづけ」で呼ぶと聞いたことがあります。ルールではありませんがそれは良い伝統だと思います。

本日のタイトルの「影」は、2002年に3行が統合して「みずほ」が誕生した時のことです。統合相手の2行は興銀とは気風・文化の違いが鮮明で完全な「肩書文化」でした。私たちは、上司でも「普通に」さんづけで呼ぶ訳ですが、そうするとあちらの中には「課長のくせになんで部長の自分をさんづけで気安く呼ぶんだ。」と内心不快に思う人が出てきます。やっかいなことに、その場では「私をちゃんと部長と呼びなさい。」とは口に出しませんので、次第にわだかまりになってしまいました。

そんな些細なこと(でも相手にとっては由々しきこと)で、興銀出身者との関係がぎくしゃくし、3行の融合を妨げる要素の一つとなったのは、ウソのような、でも本当の話です。3行統合から20数年経って今はすっかり融合していますし、私もみずほを離れ10数年経ちましたのでもう「時効」と判断し、お話しした次第です。

ダイバーシティやエクイティからすると「さんづけ文化」が時代の潮流ですが、異文化や価値観を尊重(リスペクト)するのが大切ではないかというのが、月並みですが本日の結論です。

ロータリーソング

本日のビジター

新会員 入会セレモニー

ありがとうございました。



本日の指揮は高山さん



山形北ロータリークラブ  
会長 小関眞一さん・幹事 伊藤誠さん



新会員  
日本生命保険相互会社 山形支社長 伊藤直芳さん  
スポンサー:長谷川憲治さん/千歳毅さん



この度、佐久間章夫さん(㈱エアテック)が異動に伴い退会されました。お世話になりました。

ニコニコ情報

- 小関 眞一さん (山形北RC 会長)  
山形北クラブの小関眞一です。この度、いろいろと山形クラブ様からお世話になりました。例会場を7月からメトロポリタンに移動する事になりました。お引越しの後も、どうぞよろしくお願い致します。
- 伊藤 誠さん (山形北RC 幹事)  
今年一年、林ガバナール補佐には、「最上川物語」清掃活動を中心に大変お世話になりました。又、山形市内7ロータリークラブ会長幹事会では、田中会長・與田幹事とは楽しく活動することができました。例会場が変わっても変わらぬおつき合いのほどよろしくお願い致します。

5月25日(土)「笑顔プロジェクト」

～生きづらさを抱える子どもたちとその家族との継続的交流を～

社会奉仕委員会 齊藤委員長を中心に「クローバーの会@やまがた」の皆様と唐松観音下で交流イベントを開催しました。火おこし体験から、最高級の蔵王牛(高橋畜産さんご提供)でバーベキュー、そして巷で大流行の「モルック」(阿部玩具さんご提供)で遊んだり、山形で活躍中のマジシャン「大志」さんによるマジックショーで笑顔溢れる素晴らしい事業となりました。



四つのテスト 真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

1950年8月5日 RI加盟承認 承認番号7587号(なごやか)

- 例会/毎週水曜日12:30開会点鐘 第5週18:00開会点鐘 ■ 例会場/山形グランドホテル
- 事務局/山形市十日町1-1-26-2F ■ TEL:023-632-7777 ■ FAX:023-624-5200
- E-mail:yamagata09@rid2800.jp

ホームページはこちら

パスワードは事務局へ  
お問合せ下さい。





# イニシエーションスピーチ

## 『農林水産業を基盤とする農林中央金庫から“ディスカバー山形”』

農林中央金庫山形支店 支店長 笠原 康弘 さん



### 【第1部：自己紹介】

1976年（昭和51年）9月1日、愛知県岡崎市生まれで現在47歳になります。2000年に農林中央金庫に入庫いたしました。以降、東京以外ですと、高知や宮崎・群馬にもお世話になり、山形は最北端・四角所目となります。ここで、私のふるさとである愛知県岡崎市を少しご紹介したいと思います。実は山形と比較的共通するところが多岐あり、古き良き伝統を大事にする地域でもあります。愛知県の中央部に位置し、温暖な平野部で人口は約38万人程です。「おかざき」なのか「おかざき」なのか微妙なイントネーションの違いをわかっていただけたでしょうか。実は標準イントネーションは「おかざき」ですが、地元では後者の「おかざき」というイントネーションになります。JR岡崎駅もあるのですが、もし観光等で立ち寄りになるときは東岡崎駅で下車される方が岡崎城の城下町に近く便利かと存じます。岡崎は旧国名で言う「三河」の中心地です。因みに「尾張」の中心地が名古屋です。有名なものとしては、個人的意見となりますが、「徳川家康」と「八丁味噌」ということになろうかと。徳川家康は、歴史上の偉人でもありますので、敢て説明の必要はないかと思いますが、昨年度の大河ドラマ「どうする家康」でも馴染みかと。他方、八丁味噌はご存じない方もおられるかもしれませんので、少しご紹介を。江戸時代から「八丁村」というエリアで作られてきた長期熟成された豆味噌です。かなり濃い色合いのため、塩気が強いと思われるかもしれませんが、実際はさっぱりとしたヘルシーな味噌としても知られています。最近、GI登録されたこと、そしてそれが訴訟となったことでも注目を集めました。昔ながらの岡崎市民は先般の最高裁判決には何とも言えない感覚を持ったと思います。

### 【第2部：農林中央金庫から見た山形の農林水産業】

農林中央金庫は1923年（大正12年）産業組合中央金庫として設立され、現在に至るわけですが、1943年（昭和18年）に農林中央金庫に改称したり、2001年（平成13年）からJAバンクシステムをスタートさせたり…と時代の流れに合わせて変化しながら、ビジネスモデルを変えております。そのなかで、農林中央金庫山形支店は1945年10月に終戦後すぐに開設、出強所（1945～）→支所（1953～）→事務所（1958～）→支店（2008～）と名称・機能を見直しながら、今日まで山形のみならずにお世話になっております（本年で79歳を迎えます）。農林中央金庫支店の支店長・事務所長は山形ロータリーへの思いが強く、先日の東京親善会でも多くのメンバーが集まりました。【山形の農業について】日本全体の農業産出額におけるプレゼンスは相応（13位）に高いことに加え、品目ごとのバランスがよいのが特徴。なかでも、コメ・果実は全国有数の産地。最大の課題は担い手確保。

【山形の林業について】県土面積の約7割が森林。山形県の林業産出額は69.3億円（令和3年）全国23位 ※うち木材産出額は31.7億円。栽培きのこ類36億円。最大の課題は担い手確保と需要確保。

【山形の漁業について】海に面する都道府県のなかで、全国で2番目に海岸線が短い。海面漁業・養殖業産出額は約17.4億円、内水面産出額は約4.6億円（令和3年）。最大の課題は、担い手確保に加え、豊かな庄内浜のめぐみをいかにPRしていくか、新しい「恵み」をいかに創るか。

### 【第3部：単身赴任生活の中でこんなふうな山形を“ディスカバー（＋探求・満喫）”しています】

赴任後、1年かけて山形県内、全35市町村を訪問するという目標を達しました。そんななかで強く感じたこと等を何点かご紹介いたします。1つ目は、山形の方々の山形に対する愛情の強さです。実は、「山形学」という、山形県生涯学習センターが主催する山形を多様な切り口から学習・研究する地域学講座があります。こちら、1990年から始まり今年で34年目を迎える伝統ある講座であり、山形大学の先生方を中心に大切に続けられています。私は昨年度に「山形の歴史的成り立ち」という講座に参加し、時間的・空間的な観点も含め、より立体的に山形を認識する機会をいただきました。2つ目は、ご当地山形の代表的な作業である農業のなかでも特に、「コメ」の位置付けの高さを改めて感じているところです。昨年は、高温障害に悩まされ、一等米比率が過去最低を記録する等、山形の農業に“激震”が走りまして。県行政・生産者団体をあけて、日本一のコメづくり県としての“誇り”を回復するような取り組みも始まっております。ちなみに、「やまがた特命観光・つや姫大使」も務めさせていただいております！3つ目は、一念発起し23年振りにチャレンジしたスキーです。榎森さんのチームにお世話になりながら、蔵王に行ったたり月山に行ったたり、楽しませていただいております。月山は少し距離がありますが、県庁所在地である山形市内から蔵王は車で20分程度の距離であり、こんなに近くに素晴らしい環境があること自体、山形の素晴らしいところの1つではないか、誇りにしてよいことではないかと感じているところです。

### 【最後に：山形ロータリーに対する感謝の気持ちを込めて】

私にとって、山形ロータリーは“山形”を知るいろんなきっかけやヒントをいただける貴重な場であり、大変ありがたい存在です。今後もこのような山形に貢献できるか、そんなことをしっかりと考えながらこのロータリー生活を過ごしていきたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。

### 編集後記

本日、新会員になりました日本生命保険（相）山形支店 支店長 伊藤直彦様、今後とも、よろしく願います。退会されました、㈱ユアテック山形支店 支店長 佐久間章夫様、ご苦勞様でした。田中会長の挨拶で、肩書文化とさんづけ文化についてのお話、私は肩書文化で育ってきたので、さんづけ文化のお話は、新鮮でうらやましく思いました。農林中央金庫山形支店 支店長 笠原康弘様のイニシエーションスピーチで、森林保護、育成、植林までの活動をされていることに感銘しました。木を扱う当社として更なる森林活動を進めています。（担当/工藤和夫）

Let's Make up メークを忘れずに

月 山形西RC 中山RC 天童西RC 山形イブニングRC 火 山形南RC 山辺RC 山形中央RC 水 上山RC 天童東RC 木 山形北RC 金 山形東RC 天童RC